

沖縄インセンティブセミナー in シンガポール ～訪日旅行の新たなディスティネーションをPR～

シンガポール事務所

2014年9月3日、シンガポール中心部のホテルにおいて、沖縄県及び沖縄観光コンベンションビューローが主催、日本政府観光局（JNTO）が後援する「沖縄インセンティブセミナー in シンガポール」が開催されました。

1 沖縄ならではの魅力を PR

セミナーではまず、日本の他の地域とは異なった特色を持つ沖縄の魅力について、プレゼンテーションがありました。

沖縄では、リゾート気分を味わえるビーチサイドパーティーはもちろん、世界最大級の水槽を有する美ら海水族館やミステリアスな鍾乳洞での100名規模のパーティー、また、古民家を活用した心に残るユニークなテーマパーティーの実施が可能です。

また、世界一の大綱による那覇大綱挽、首里城祭といった独特の歴史文化を体験できるイベントに加え、ゴルフ、マラソンやトライアスロン大会などのスポーツも楽しめます。

さらに石垣牛やアグー豚、ミネラル豊富な塩などの沖縄の食、多言語コールセンター（英・中・韓）やリゾートからバジェットまでそろったホテル等、顧客の要求に合わせたツアーが提供できるとPRされました。

他にもインセンティブツアー客の人数に応じて実施される「ミス沖縄による空港出迎え」、「芸能アトラクション派遣」等の支援メニューが紹介され、集まった参加者は熱心に耳を傾けていました。



ミス沖縄がお出迎え



プレゼンに耳を傾ける参加者

2 商談会と工夫を凝らした演出

続いて行われた商談会では、シンガポールの31社が沖縄県内から集まった18団体の個別ブースを回り、詳細な説明を受けていました。

商談会を視察したシンガポール政府関係者は、「シンガポールで今、どこが人気なのか、競合相手がどこなのかを分析して差別化していく必要がある。」とか、「シンガポールからのインセンティブツアーは金融・保険関連企業が狙い目だろうが、ターゲットが何を求めているかを的確に把握しなければならない。」と、沖縄からの参加団体に対して助言していました。

商談会後は、沖縄ポップスユニットによる芸能アトラクション、ランチョン交流会では沖縄料理も振る舞われ、参加者も沖縄の雰囲気を楽しんでいるようでした。担当者によると、今回の会場選定にあたっては、周りが緑に囲まれており、内外装も沖縄の赤瓦古民家を思わせるものだったことが決め手のひとつになったと述べ、インセンティブセミナーではトータルの演出も重要であると感じました。



商談会の様子



芸能アトラクションに興じる参加者



沖縄料理でランチョン交流会

沖縄インセンティブセミナー in シンガポールの概要

期 日	2014年9月3日(水) 10:30~14:00
開催場所	Shangri-La Hotel Singapore Garden Terrace
主 催	沖縄県/沖縄観光コンベンションビューロー
後 援	日本政府観光局 (Japan National Tourism Organization)
出展団体	沖縄県内の企業等18団体 (ホテル、旅行会社、MICE 施設等)
シンガポール側参加団体	31社53名 (旅行会社関係、イベント企画会社、航空会社等)

3 おわりに

沖縄観光コンベンションビューローが開催を支援した海外からのインセンティブツアーは、2013 年度は 2010 年度と比較して件数が約 5 倍の 81 件、人数も約 3 倍の 5,355 人と右肩上がり増加しています。現在は台湾や韓国等の企業が多いようですが、担当者は、「今後は、シンガポールからのインセンティブツアー誘致強化に加え、マレーシアやタイ等その他の東南アジア諸国からも積極的に誘客したい」と話していました。

今回の単独インセンティブセミナー以外に、JNTO 主催の合同インセンティブセミナーへの参加、旅行博への出展、9 月から 1 月上旬にかけての那覇 - シンガポール間チャーター便就航に合わせた副知事トップセールス等、沖縄県と沖縄観光コンベンションビューローのシンガポールにおけるプロモーションが加速しています。

沖縄が訪日旅行の新たなディスティネーションとして定着できるか、シンガポール事務所ではその取組みを追っていきたいと思います。

(与那嶺所長補佐 沖縄県派遣)

